

商品名

DGS エポフレックス

DGS エポフレックスは、湿気硬化型1成分形特殊エポキシ変成系シーリング材です。
 コンクリート、モルタル、ALC、サイディング板などのクラック補修に最適です。
 DGS シールグラウト工法を使用することでUカット、Vカットが不要となり、粉塵、騒音を出しません。
 速硬化の為、塗装などへ移る工期の短縮が可能です。

■特長

- ◇DGSシールグラウト工法の指定材料
 DGSシールグラウト工法使用時、Uカット、Vカットが不要
 施工跡が最小限で目立ちません。
 パターン補修をしなくても綺麗な仕上がりが得られます。
 システムが手軽で調合、計量の必要がなく作業性が良好です
- ◇硬化が早く次工程に すぐ移ることが可能
 23°C/50%Rhで60minの乾燥時間
- ◇高硬度
 A硬度 70 の高硬度
- ◇湿潤面にも使用可能

■用途

- ・DGSシールグラウト工法を用いてコンクリート、モルタル、ALC、サイディング等のクラック補修
- ・適度な弾力性でサイディング、ALC、PC板などの動きのある箇所にも最適

■性状・性能

・一般性状

商品名	DGSエポフレックス
製品コード	EMC1-01
クラス	—
外観	ペースト状
混合比	—
色	ホワイトグレー
有効期限	12ヶ月
粘度(Pa・s)	180 / 23°C
施工温度範囲	1 ~ 40°C
適応温度範囲	-30~90°C
塗装性	良好

・硬化性(目安)

気温	厚み(mm)クラック幅			
	0.5	1.0	2.0	3.0
5°C*50%RH	24h	72h	120h	240h
23°C*50%RH	6h	12h	24h	60h
35°C*50%RH	3h	8h	16h	24h

・硬化物物性(JIS K 6251 ダンベル状 3号形)

最大引張応力	(N/mm ²)	3.00
破壊時の伸び率	(%)	50
硬度	(ショア-A)	70

・JIS A 5758 又は JIS A 1439 に基づく性能

密度(g/ml)		1.35
タックフリー(分)	23°C	60
体積損失(%)		7
せん断引張接着性 最大引張応力(N/mm ²)	23°C	2.4

使用プライマー無し 被着体:モルタル





■施工手順

- ①クラック幅、長さ、貫通の有無など調査し作業範囲、工程の決定
- ②DGS 洗浄ガンを使用しクラック周辺及び内部の洗浄③洗浄後、改めてクラック幅、長さを計測
- ④ガンを装着しクラックへ注入
- ⑤はみ出た部分を除去
- ⑥必要に応じ、コンクリートを切りとり施工状況確認
- ⑦切り出し後樹脂モルタルを充填し、平滑に整える

■留意事項

- DGS シールグラウト工法は DGS エポフレックスを使用しコンクリートやモルタル壁のクラック注入補修作業を行う為のものです。
- DGS シールグラウト工法はダイレクトグラウトシステムが指定した材料と工具を使用して注入されるものとします。

■注意事項

- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・火気や静電気に注意し、十分に換気を良くしてお使い下さい。
- ・また必要に応じて有機ガス用保護マスク、保護眼鏡をご使用下さい。
- ・廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- ・目に入った場合は、速やかに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

■荷姿

●シーリング材

DGS エポフレックス・・・300ml カートリッジ×20本／段ボールケース



DGS エアーガンセット



DGS 先端チップ×10



DGS タンク



DGS クリーニングガン

■使用量

DGS エポフレックス・300ml 当たりの換算施工 m 数

D	W	0.1mm	0.2mm	0.3mm
10mm		210	105	70

ロス率 30% W:クラック幅 D:注入深さ

- 対応可能なクラック幅は 0.1mm～0.3mm、気温は 1℃～40℃とします。
- DGS エポフレックスの使用期限は冷暗所保管で 12ヶ月とします。
- DGS シールグラウト工法は水密、気密性を確保するものです。構造部分の強度補強には DGS ハードグラウト工法を適用してください。

- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐き出させて、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- ・子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- ・本品は建築用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- * 詳細の説明は、SDS(製品安全データシート)をご参照下さい。

★お客様へ 本カタログに記載している情報及びデータは、当社の実験により細心の注意を払っていますが、ご使用に際しては貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。また、記載の荷姿、仕様に関しては断りなく変更する場合はございます。



<http://www.sharpchem.co.jp>
info@sharpchem.co.jp

■大阪本社

〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 12-1
TEL 072-268-0321 FAX072-268-0326

■堺工場

〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 13-12
TEL 072-268-0322 FAX072-269-2810.

■グローバルセンター

〒592-0001 大阪府高石市高砂 3-44
TEL 072-268-0323

■東京営業所

〒135-0016 東京都江東区東陽 5-26-9
TEL 03-3649-8103 FAX03-3646-6011

■札幌出張所

〒003-0824 札幌市白石区菊水元町四条 1 丁目 2-1
TEL 011-598-6814 FAX011-598-6824

■森夏化工科技(上海)有限公司

〒201402 上海市奉贤区大叶公路 2058 弄 16-1 号
TEL +81-21-57406320 FAX +81-21-57402721